

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主及び投資家にとどまらず、従業員、取引先、国内外の顧客、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や経営戦略遂行によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行う事が、持続的な企業価値の向上や経済の発展につながるとの観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めて参ります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

創業以来、「産業と社会の基盤を支える」ことを自らの使命としてきた当社は、社会や産業が抱える課題の解決に取り組む、パーパス（存在意義）である「Enhancing Planetary Health」の実現と持続的な企業価値の向上を目指し、経営基盤の強化、経営資源の成長分野への重点的な投入を行い、このパーパスを実現して参ります。

また持続的な成長の原動力である全ての従業員が働きがいをもって活躍し、個人の能力を最大限発揮し、最大パフォーマンスを創出できるような職場環境を整備して参ります。

成長により生み出した収益・成果は、社会情勢や自社の状況を踏まえた適切な時期と方法による賃金の引上げを行うとともに、人材投資を中心に様々な人事施策の実施・体制づくりの取組を通じて、生産性の向上と付加価値の最大化を実現し、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、2023年4月に、業界のリーディングカンパニーに相応しい水準とすべく処遇改善（賃金引き上げ）を実施し、人財育成については、持続的な成長、企業価値向上のため「自ら変化を起こし続ける人材」を継続的に排出

していく各種研修を実施して参ります。

## 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- パートナーシップ構築宣言の登録日  
【令和5年3月1日】
- パートナーシップ構築宣言のURL  
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/23860-04-00-kanagawa.pdf>】

以上

令和5年 3月 24日

日揮株式会社

法人名

代表取締役 社長執行役員 山田昇司

役職・氏名（代表権を有する者）